

## 保育計画成果報告書

法人名等	株式会社エムアンドエム
施設名	ひかり保育園
報告者（役職）	村上美由紀（園長）
住所・連絡先	千葉県船橋市習志野台4-3-9
	☎ 047-456-6370
	E-mail hoiku_30@cloud-line.net

### ○タイトル（保育計画）

“もっとあそびたい” ほいくえん

### ○主な助成備品

はいはいすべり台・つかまり立ちサークル・ままごと調理器具・乳児用白木流し台・ミニテーブル・ソフトベンチ・バランス平均台・トロッコ・三輪車・バギー・ピクニックテーブル・多目的棚・乳母車

### 1. 保育計画策定の目的

前園長の実家（昔ながらの日本家屋）を利用したわが園は、素朴な佇まいとあたたかい雰囲気毎日子供たちを出迎えてくれます。見学をされる保護者から「昔おばあちゃんの家遊びに行った時を思い出します」

「小さい時はこんな小さな園で過ごさせたいと思っていまし

た」との声が聞かれます。園庭も、季節ごとの草木が植えられているので、移り変わりを感ずることができる自慢の園庭と感じています。

当園は0、1、2歳児が過ごす保育園として、恵まれた環境の中での保育を大事にしてきました。しかし、落ち着いている環境であるがゆえに子供たちの活発な運動を刺激する力が不足していると感じていました。そこでこの度、子供たちの積極的な活動心を誘発するような遊具の導入を考えました。

\*0歳児：はいはいを楽しめる遊具

\*1歳児：ごっこ遊び（ままごとコーナー）が盛り上がる遊具

\*2歳児：運動機能（特にバランス力）を高める遊具



## 2. 具体的な実施内容

\* 0歳児：【はいはい時期の重要性を考え、歩行へ進むまでの間ならではの遊具】

寝返りができるようになり、はいはいで自分の好きな玩具に手が届くようになると、子供自身の気持ちで体を動かさしはじめます。はいはいで進む時、体全部を動かしているため、保育室の中を自由に動けるよう環境を整えてきました。そこに、坂を登ったり降りたりできる遊具《はいはいすべり台・つかまり立ちサークル》を導入し“はいはい時期”の0歳児の運動機能を刺激し、身体を動かす楽しさを体験しています。反対側で「おいで～」と呼ぶとニコニコして乗り越えてきます。

歩行までの大切な時間にははいはいを沢山経験できるようになり、上半身の発達と体の使い方を覚えやすくなりました。



\* 1歳児：【ごっこ遊び（ままごとコーナー）の充実のための遊具】



子供たちの大好きなままごと・お世話遊びは、大切にしています。木製の食材・なべ・さら・包丁など揃えていましたが、さらに充実するため、《おままごと調理器具たっぷりセット・乳児用白木流し台・多目的棚ベーシック・ままごとミニテーブル・丸洗いソフトベンチ・乳母車》を追加することで、小さなお家として遊びに熱中できるコーナー

作りをさらに充実させました。「はい なにがいいですか?」「これください」と何気なくお店屋さんごっこが始まり、「カレーたべますか?」「まってくださいね」「行ってきまーす」など子供同士のやりとりの会話も飛び交います。保育士も交えお店屋さん・お買い物ごっこ・お人形遊びなど盛り上げ楽しく展開できるようになりました。



**\* 2歳児：【運動機能（バランス力・体力作り）を高めるための遊具】**



歩くことも上手になり、両足とびもできるようになってくると、高い所からのジャンプ・鉄棒へのぶら下がり・高いすべり台・平均台を歩くなど、一人での活動を求めるようになります。まだ、保育士の見守りは必須なのですが、本人の「一人でやりたい」という気持ちも大切にしたいのです。そのために、遊びながらバランス力を身につけ安定した体の使い方の訓練ができるような遊具《森の平均》を用意しました。遊びながら鍛え転んだ時も手が出るような、運動機能を身につける助けとなりました。

園庭には小さな砂場があります。子供たちは座り込んで、砂まみれになって遊んでいます。《折りたたみピクニックテーブル》を置いて型抜き・ままごとなどを楽しむ広場に



し、年齢に応じた戸外活動用の遊具《三輪車・トロッコ・バギー》を揃え、昔ながらの日本家屋保育園がさらにまた、楽しい場所として子供たちの成長を見守ってくれる所となりました。

### 3. その成果と評価

我が園は0・1・2歳までの子供たちの保育園だからこそ、先の成長を見据えながら毎日子供たちと過ごしています。0歳のはいはい時期を長く大切に過ごした子供は、自分の力で体を支えることを覚え、知らぬ間に上半身を鍛えられるようになりました。そして1歳を迎え少しずつ歩き出してからの安定と転んだ時に身を守ることでできる身体作りをしています。遊びながら運動機能を身につけ、三輪車に乗り・バギーを押し・身体を動かす楽しさも体験しながら友達とのコミュニケーション能力も身につけてくれたらと思います。

一日のうち家庭よりも長い時間を過ごす保育園だからこそ大切な所だと感じています。多くの遊具など導入することで、「もっとあそびたい！保育園」により近づいたと感じています。

### 4. 今後の課題と展望

「第二の家庭」として、今後も子供たちの成長を思い、工夫し考えながら毎日を過ごしていきます。

選定していただいたこと、大変感謝し大切にしていきます。有難うございました。

以上